



男性×家事育児×オープンイノベーション・コンソーシアム
シンポジウム

#家事も育児も
「みんな」で
やったら？



ALL IN HAPPINESS!

参加
無料

定員
100名
(先着順)

2020年 3月5日 木

14:00 - 16:30

[開場・受付 13:30]

会場 横浜情報文化センター 6階
情文ホール (横浜市中区日本大通11番地)

第1部 基調講演

テーマ 多様性を許容する社会を創るために

講師 益田 文和氏 株式会社オープンハウス代表取締役・インダストリアルデザイナー・キッズデザイン賞審査委員長

第2部 パネルディスカッション

データ集計機を使用して、会場からの意見も聞きながら進めていきます。

男性の家事育児がもっと日常的に
当たり前になった社会、その先にあるのは—

「男性も、女性も、家庭も、企業も、みんながHAPPYな社会」を目指す企業・団体等のコンソーシアムが立ち上がり、1年が過ぎようとしています。
今回のテーマは#家事も育児も“みんな”でやったら？

“みんな”とはいったい誰、何でしょう。

家族のかたち、暮らしのかたちは人それぞれ、“みんな”は多様で多義的です。

私たちはどういう社会に向かおうとしているのか、そして“みんな幸せ”とは？

男性の家事育児が当たり前化したその先にどんな未来を描くのか、“みんな”で考えてみませんか？

対
象

- ▶ 「男性・家事育児」をビジネスの対象とする企業
- ▶ 働き方改革、女性活躍、男性社員の家事育児支援に取り組む企業等
- ▶ 男性の家事育児を応援するNPO・個人・学生

男性×家事育児×オープンイノベーション

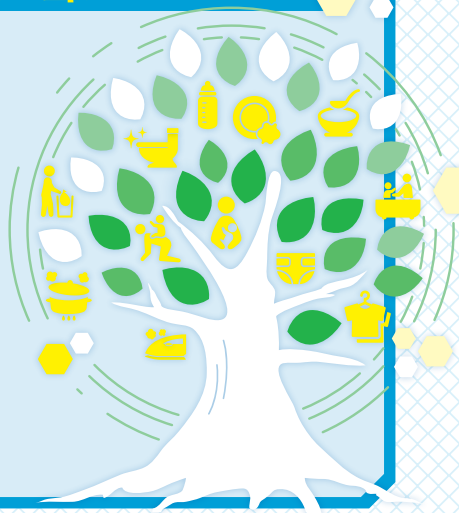
コンソーシアムとは

男性の家事育児への参画は、本人やその家族に良い影響を与えるだけでなく、女性の就労継続やキャリアアップの促進、さらには出生率の回復などにつながります。

2019年3月、日本初、男性の家事育児をもっと日常的に、当たり前化する社会環境形成を目指すコンソーシアムが、神奈川県でキックオフしました。

コンソーシアムは、「家事育児をみんなの幸せごとに!」「男性の家事育児を通して社会をHAPPYに!」を合言葉に集まったメンバー同士の「オープンイノベーション」により、男性の家事育児をターゲットとした新市場の創出や、行動変革普及を進める社会的加速装置です。

先進事例や取組成果の発表を行う定例会やワークショップを開催しています。そこで得たつながりから、新たなプロジェクトも芽吹き始めています。



基調講演講師

益田文和氏



東京都出身。インダストリアルデザイナーとして家電をはじめとする様々な製品のデザイン開発や地域産業のデザイン振興など国内外のプロジェクトに関わる。元東京造形大学デザイン学科教授、グッドデザイン賞審査委員、公益財団法人日本デザイン振興会理事などを歴任。2013年に活動拠点を東京都心から山口県中山間部に移してサステナブルデザインを実践している。環境省グッドライフアワード実行委員長、キッズデザイン賞審査委員長。

パネリスト

益田 文和氏

河崎 由美子氏 積水ハウス株式会社 住生活研究所 所長
一級建築士。キッズデザインやペット共生、収納、食空間など、暮らしに関わるソフト研究開発全般に携わる。

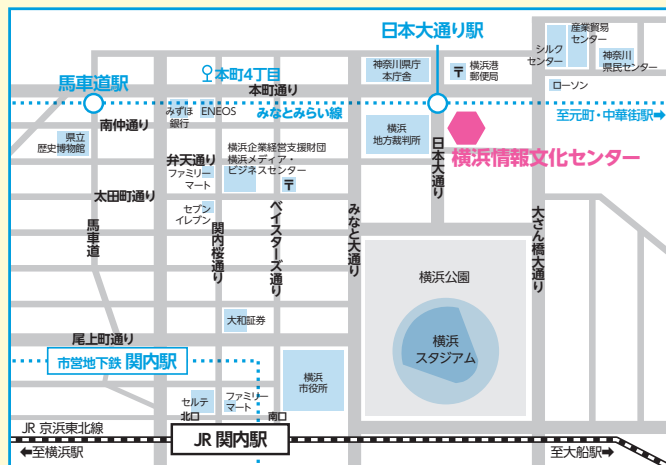
半田 真哉氏 株式会社ワンスレッド 代表取締役
子育て応援ブランドpapakoso(パバコソ)を立ち上げ、父親の家事育児をサポートする商品・サービスを開発している。

須賀 健斗氏 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士2年生
大学院の修士論文で「夫婦の家事分担」について研究。

ファシリテーター：コンソーシアムアドバイザー 濱田真輔氏
(キッズデザイン協議会フェロー)

アクセス

- JR「関内駅」南口 徒歩10分
- 横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口 徒歩10分
- みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩0分



申込み 問合せ

必要事項を明記の上、電話、FAX(任意様式)またはホームページからお申込みください。

2月29日(土) 締切

- ① イベント名
- ② 事業者名、団体名
(個人で参加の場合は不要)
- ③ 部署名
(個人で参加の場合は不要)
- ④ 学校名・学年
(学生のみ)
- ⑤ 参加者氏名
(人数分)
- ⑥ 電話番号
- ⑦ メールアドレス

かなテラス
(神奈川県立かながわ
男女共同参画センター)
参画推進課

電話
0466-27-2114
(受付時間8:30~17:15)

FAX
0466-25-6499

ホームページ
http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0050/dki_consortium/info/dkiconso200305.html



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県